

環境活動レポート

2016年度版

対象期間 : 2016年3月21日～2017年3月20日



オーテック工業株式会社



発行日 2017年7月31日

目 次

	ページ
1. 環境方針 -----	3
2. 会社概要 -----	4 ~ 5
3. 環境目標と実績 -----	6
4. 環境活動計画の内容 -----	7
5. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容 -----	8 ~ 11
6. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無 -----	12
7. 代表者による全体評価と見直し -----	13

1. 環境方針

< 基本理念 >

当社は、建築金物の製造・加工を通じて、地域環境に与える影響を認識し、社員一丸となって、環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発に取り組む。

< 行動指針 >

① 環境負荷の低減に向け、以下の項目に取り組む。

- ・ 電力および自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ・ 使用原材料の省資源化、廃棄物の3R（減量・再使用・再生利用）の推進
- ・ 水使用量の削減
- ・ 事務用品のグリーン購入推進
- ・ 製品不良の削減
- ・ 有害な化学物質の管理


② 環境関連法規、条例およびその他の規制を順守する。

当社は、上記の環境方針を全社員に周知し、この方針に沿って事業活動を行い、環境保全活動に継続的に取り組む。

制定 2015年 12月 28日

改定 2016年 4月 28日

オーテック工業株式会社

代表取締役 

2. 会社概要

1) 事業所名および代表者名

オーテック工業株式会社
代表取締役 山崎 禎

2) 所在地

富山県中新川郡立山町塚越338番地の2

3) 事業内容

内外装パネル・庇・笠木・幕板・見切など、アルミ・スチール製の
建築金物の製作および加工

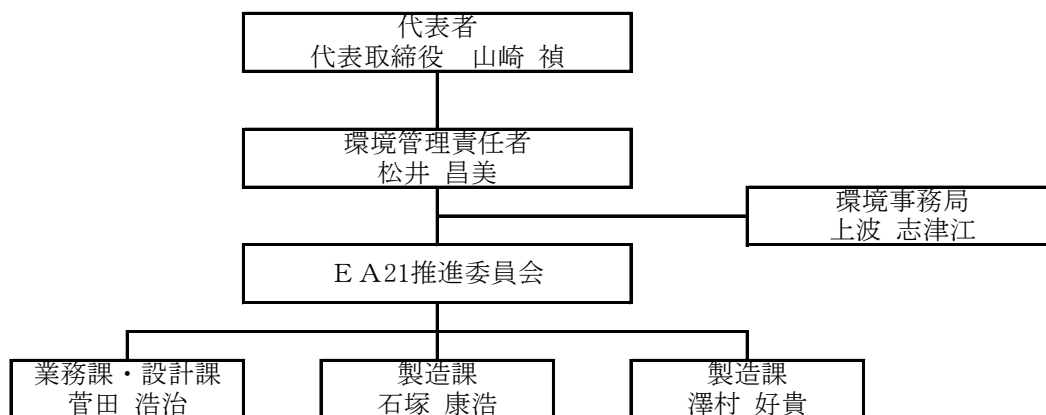
4) 事業規模

設 立 : 1993年4月
資本金 : 60,000 千円
売上高 : 341 百万円 (2016年4月～2017年3月)
従業員数 : 20名
延床面積 : 1,663m²

5) 環境管理責任者および担当者連絡先

責任者 : 松井 昌美
担当者 : 上波 志津江 (事務局)
連絡先 : TEL 076-463-4800 FAX 076-463-4801

オーテック工業株式会社 実施体制図および役割・責任・権限表



※尚、全組織を取組の対象範囲とする

	役割・責任・権限
【代表者】 代表取締役 山崎 禎	◇環境経営に関する統括責任 ◇環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意 ◇環境管理責任者を任命 ◇環境方針の策定・見直しおよび全従業員への周知 ◇環境目標・環境活動計画書を承認 ◇代表者による全体の評価と見直しを実施 ◇環境活動レポートの承認
【環境管理責任者】 松井 昌美	◇環境経営システムの構築、実施、管理 ◇環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ◇環境目標・環境活動計画書を確認 ◇環境活動の取組結果を代表者へ報告 ◇環境活動レポートの確認
【環境事務局】 上波 志津江	◇環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ◇環境負荷の自己チェックおよび環境への取組の自己チェックの実施 ◇環境目標・環境活動計画書原案の作成 ◇環境活動の実績集計 ◇環境関連法規等取りまとめ表の作成 ◇環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ◇環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ◇環境活動レポートの作成・公開（社内備付と地域事務局への送付）
【EA21推進委員】 菅田 浩治 石塚 康浩 澤村 好貴	◇自部門における環境経営システムの実施 ◇自部門における環境方針の周知 ◇自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ◇特定項目の手順書作成および運用管理 ◇自部門における問題点の発見・是正処置および予防措置の実施
【従業員】	◇環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ◇決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境目標と実績

評価について ○：達成率100%以上 △：達成率90%以上100%未満 ×：達成率90%未満

<実績>		単位	2014年度	達成目標 (基準年度比)		2016年度			達成率	評価
			(基準年度)	目標値	比率	実績値	基準年度比	比率		
CO2排出量削減		kg-CO2	75,413	75,941	0.7%	75,539	126	0.2%	100.5%	○
内 訳	電力	kwh	102,340	100,805	-1.5%	101,776	-564	-0.6%	99.0%	△
	化石燃料 (軽油)	ℓ	4,177	4,093	-2.0%	3,700	-477	-11.4%	110.6%	○
一般廃棄物排出量削減		kg	474.0	144.6	-69.5%	143.0	-331.0	-69.8%	101.1%	○
産業廃棄物排出量削減		m ³	8.6	8.4	-2.0%	25.4	16.8	195.3%	33.2%	×
井水使用量削減		-	使用量管理不可	数値目標なし	-	使用量管理不可	-	-	-	-
事務用品のグリーン購入		%	74.7	85.0	13.9%	84.5	9.9	13.2%	99.5%	△
製品不良の削減		万円	77.8	76.2	-2.0%	66.3	-11.4	-14.7%	114.9%	○
化学物質使用量管理		kg	少量につき算出せず	数値目標なし	-	少量につき内部管理のみ	-	-	-	-

<中期目標>		単位	2014年度	2017年度		2018年度		2019年度	
			(基準年度)	目標値	比率	目標値	比率	目標値	比率
CO2排出量削減		kg-CO2	75,413	73,390	-2.7%	73,015	-3.2%	72,941	-3.3%
内 訳	電力	kwh	102,340	100,293	-2.0%	99,782	-2.5%	99,679	-2.6%
	化石燃料 (軽油)	ℓ	4,177	4,072	-2.5%	4,051	-3.0%	4,047	-3.1%
一般廃棄物排出量削減		kg	474.0	142.2	-70.0%	139.8	-70.5%	138.4	-70.8%
産業廃棄物排出量削減		m ³	8.6	8.4	-2.5%	8.3	-3.0%	8.3	-3.5%
井水使用量削減		-	使用量管理不可	数値目標なし	-	数値目標なし	-	数値目標なし	-
事務用品のグリーン購入		%	74.7	90.0	20.6%	95.0	27.3%	95.1	27.4%
製品不良の削減		万円	77.8	76.0	-2.2%	75.8	-2.5%	75.7	-2.6%
化学物質使用量管理		kg	少量につき算出せず	数値目標なし	-	数値目標なし	-	数値目標なし	-

<参考> CO2排出量の排出係数について

(電力参照URL：<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>)

(燃料参照URL：<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran2015.pdf> [別表2. 参考1])

	2014年度 (基準年度)	2016年度 (対象年度)	2017年度以降
電力 (北陸電力)	0.630 kg-CO2/kwh	0.647 kg-CO2/kwh	0.627 kg-CO2/kwh
軽油	2.619 kg-CO2/ℓ	2.619 kg-CO2/ℓ	2.580 kg-CO2/ℓ

4. 環境活動計画の内容

環境目標を達成するため、以下の環境活動を計画し、取組状況の把握を行った。

活動計画の内容		取組状況
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	不在時および休憩時間の消灯喚起 △
		空調機器の適正使用 ○
		OA機器の待機電力の削減 ○
		工程短縮・機械待機時間の短縮 ○
		クールビズ・ウォームビズの実施 △
	軽油使用量の削減	運転日報の記入徹底 ○
		「ストップ急発進・急加速・アイドリング」の啓発活動 ○
		車両状態の自己点検 ○
廃棄物排出量の削減		配送および積載の効率改善 ◎
		裏紙使用・ペーパーレス化による用紙削減 ○
		端材・消耗品の削減および分別処分 ○
		簡易梱包の推進・多重梱包の見直し ○
水使用量の削減		梱包資材の再利用・リサイクル ○
		ポスター・ステッカー貼付による注意喚起 ○
グリーン購入の推進		配管からの漏水点検 ○
		グリーン購入適合商品の選定 ○
		詰め替え用文具の利用推奨 ○
製品不良の削減		使用済みトナーやカートリッジの無償回収の利用 ○
		再発防止策の周知徹底 △
		データ収集による業務手順の見直し ◎
化学物質使用量の管理		外注時の受入検査実施 ○
		塗料の塗布量過多への注意喚起 ○
		塗料使用量のデータ収集 ○
		塗装品以外の仕様の検討・提案 ○
	新型塗料の検討 ○	

◎：取組により目標達成に貢献 ○：取組んでいる △：さらに取組が必要 ×：取組めていない

5. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

5.1 二酸化炭素排出量の削減

担当：菅田・石崎

電力使用量においては基準年度を0.6%下回ったものの、環境目標の $\Delta 1.5\%$ 達成には至らなかった。

生産量が増加傾向の中で啓発活動が中心となっているが、来期以降は計画的な取組を実行に移し、目標達成に向けて取り組むようにしていく。

シャーリング導入



節電を呼びかけ



暑さ対策のため遮熱



軽油使用量においては基準年度比で $\Delta 11.4\%$ となり、環境目標を達成できた。外注先と連携を取って、空車での走行回数減少を図った。生産量の増加や納期など搬出入時の課題は多いが、安全と効率の良い搬送を心がけていけるよう、生産工程の体制強化を図っていきたい。

ラック内の積載量に配慮



合積みにより配送効率アップ



5.2 廃棄物排出量の削減

担当：松井・澤村

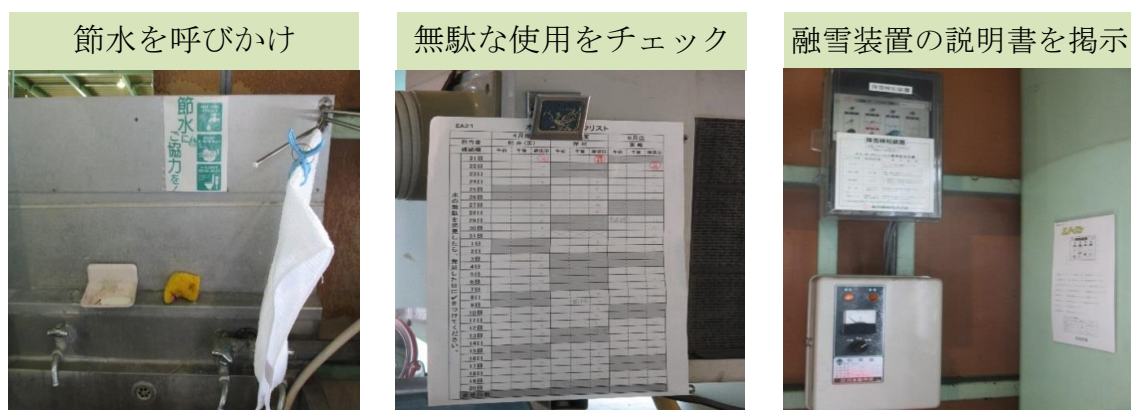
一般廃棄物の環境目標は達成するも、産業廃棄物は目標未達となった。
EA21の認証取得後、整理整頓や分別の意識は高まってきている。長年放置していた
廃材や備品の処分を行ったため、排出量増加の一因となった。
適法処分と適正な物品管理に努め、環境活動の推進と排出量の削減につなげたい。



5.3 水使用量の削減

担当：松井

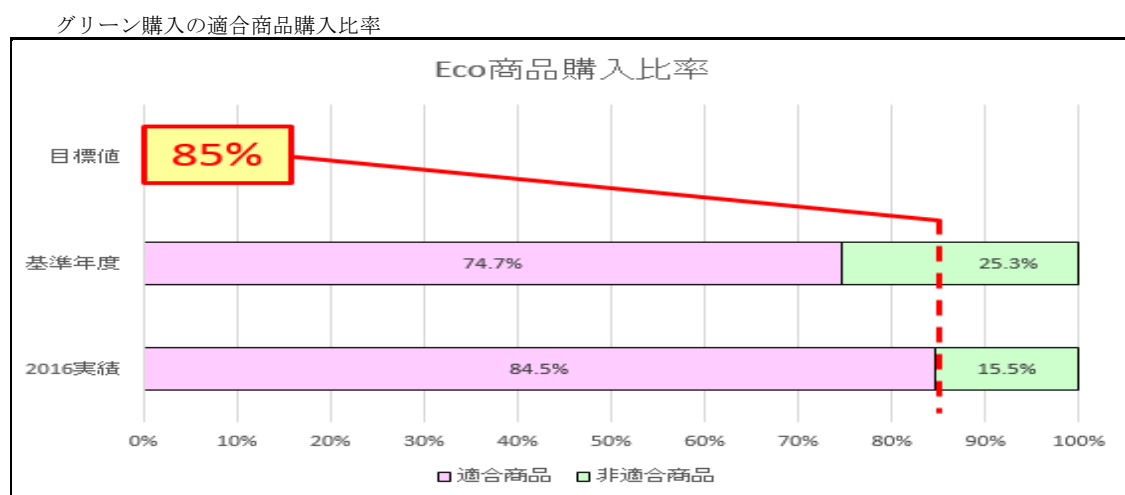
井水使用量の管理ができなため、引き続いて数値目標はなし。
融雪装置の稼働体制見直し・節水啓発の再周知など、屋内外へ活動を広げた。
節水に対する意識が希薄にならないよう、従業員への啓発を継続したい。



5.4 事務用品のグリーン購入推進

担当：上波

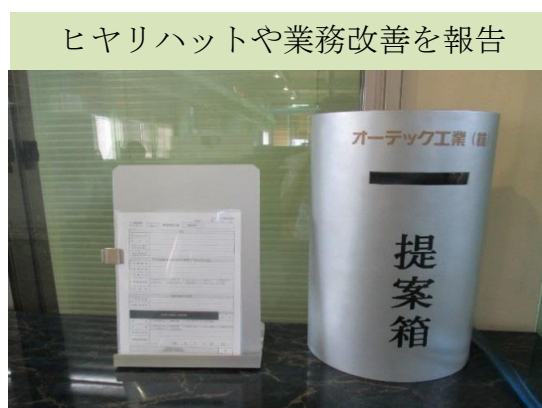
昨年度に続き、対象を事務用品に限定して環境目標を設定した。
基準年度74.7%に対して85.0%の目標設定としたが、僅かに目標未達となった。
職場環境や業務の改善と同時に、グリーン購入についても意識を持って
継続的に取り組んでいきたい。



5.5 製品不良の削減

担当：石塚

生産量増加となった年だが、基準年度比 Δ 14.7%と目標達成。
工程管理書類の見直し、検査の徹底などの体制強化が削減に繋がった。
ヒヤリハットの事例報告・クレーム対応など、事前事後の報告を励行して、
問題の根本解決がなされるよう改善を継続していきたい。



5.6 化学物質使用量の管理

担当：村澤

化学物質使用量については、塗料の使用量が少量かつ製品仕様によって削減の見込みが薄いことから、適正な使用量を管理することとした。

錆止め仕様の製品増加によって化学物質使用量も増加となったが、塗装機の使用頻度の改善など、洗浄用シンナーについては削減された。

製品仕様について情報共有を図り、適正使用を継続していきたい。

カップ式ガンを使用し、洗浄用シンナーの使用量を削減



5.7 その他の取組

5.8 次年度の取組内容（追加項目のみ表示）

エコアクション21掲示板を設置



- 電力使用量の削減
ライトダウンキャンペーンへの参加
事務所内のLED照明への入替
- 自動車燃料の削減
ハイブリッドタイプの車両へ入替
「エコドライブ宣言」への登録参加

6. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

<主に適用される環境関連法規と遵守状況>

環境法規制等の名称	遵守すべき規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託契約の締結	遵守
	マニフェストの交付・保存	//
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	//
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	//
	点検等の履歴の保存等	//
	漏えい防止措置等	//
浄化槽法	設置の届出	//
	保守点検および清掃等	//
消防法	指定数量未満の危険物等の貯蔵取扱の届出	//
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適切な廃棄	//

上記の環境法規制のほか、関係する条例やその他の規制等について違反・訴訟はありませんでした。また、過去3年間にも違反等はなく、関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し

確認事項	確認	見直しの必要性	
環境目標と実績	✓	環境方針	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
環境活動計画の内容	✓	環境目標	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
環境活動計画の取組状況	✓	環境活動計画	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
環境活動の取組結果と評価	✓	実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
環境関連法規等の遵守状況	✓	環境経営システム全般	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
環境に関する苦情・要望	✓	その他	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

見直しの具体的内容および指示事項
<p><実施体制></p> <p>推進委員入替 新任：石崎、栗田、村澤、堀井 退任：澤村、菅田</p> <p>各項目に推進委員1名とサポートメンバーを配置し、全従業員がEA21に参画する。</p>

総 評
<p>キックオフ時の「成果はともかく、現場から積極的に意見が出る体制の構築」について、まだまだ全員の意識の高まりがなく、責任者や事務局のメンバー中心の活動になっていると感じられる。</p> <p>次年度は、エコアクション21の取組はもとより、地域の環境整備協議会や校区の活動などを通じての環境活動の実績に対して、社内報奨などの検討を行う。</p>